

株式会社 ダンレイ
技術部
作成年月日 2002年12月2日

Danke
製品仕様書

承認	審査	作成
真 22.1.14 崎	中野 22.1.13 (直)	大 22.1.12 野

名称 : 水道用減圧弁
型式 : RJ2002AZ
組立図番 : RJ2002AZ0000A1

接続	管 接 続 端	入 口	ねじ込み形 Rc3/4	
		出 口	ねじ込み形 Rc3/4	
構造	機 能	圧力調整機構	直動式自力制御型(ダイヤフラム式)	
		逆止め機構	リフト式	
		ストレーナ	250 μ m(60メッシュ)	
		水抜き機構	プッシュ式	
材質	主 要 部 材 質	弁箱	CAC406	
		弁棒	C3531	
		ダイヤフラム	NBR	
		ディスク	EPDM	
使用条件	流 体	水道水(上水)		
	流 体 温 度	0~60 $^{\circ}$ C以下(但し、凍結のないこと)		
	雰 囲 気 温 度	-20~60 $^{\circ}$ C(但し、流体の凍結のないこと)		
	一 次 側 圧 力	0~750kPa		
性能	取 付 姿 勢	水平・垂直(ばねカバー上向き又は水平)		
	設 定 圧 力	80 \pm 6kPa 一次側圧力 350kPa時		
	圧 力 特 性	設定圧力の許容差以内であること		
	開 放 流 量	30L/min以上 一次側圧力 100kPa、二次側開放時		
	逆 流 防 止 性 能	二次側 3kPa及び当該減圧弁の設定圧力を1分間印加して漏れがないこと		
	耐 圧 性 能	一次側 1.75 MPa, 水压 1分間加圧		
	耐 寒 性 能	再通水後、設定圧力の許容差以内であること		
	耐 久 性 能	10万回作動した後、性能項目を満足すること		
取扱い上の注意事項	浸 出 性 能	JIS B 8410 に示す判定基準に適合すること		
	①	取付姿勢は、弁箱の鋳出し矢印を流れ方向に合わせてください。		
	②	配管施工時の砂、切り屑、切削油などは、十分に洗い落としてください。		
	③	凍結破損しないよう保温などの処理をしてください。 また、凍結のおそれがある時は水を抜いてください。		
	④	調節ねじは、作動圧力が変わるので動かさないでください。		
	⑤	ストレーナの掃除は1年に2回以上定期的に行ってください。定期以外にも流量の低下を感じた際には適宜行ってください。設置当初は配管工事中に混入した泥や砂などが溜まり易いので、給水開始後早めに掃除を行ってください。		
	⑥	逃し弁を使用する際は、減圧弁を逃し弁より下に取り付けてください。		
	⑦	逃し弁を組み合わせて使用する際の設定圧力は、減圧弁の設定圧力を95kPaおよび97kPaもとに戻してください。また、吹き止り圧力が減圧弁の設定圧力と重ならないように注意してください。		
	⑧	落下品は、作動圧力が変動している恐れがあるため、使用しないでください。		
⑨	製品を機器に組み込んだ状態でのご使用状況につきましては、弊社での予見が困難でありますので、品質・性能・安全性を十分に御確認されたうえでご使用ください。			
備考	1. 製造年月日は、ばねカバーに略号を捺印	Δ^2	22.01.07	設変No.70-034
	Δ 2. 水道法基準適合品※認証バルブ貼付品のみ	Δ	08.07.22	型式コード削除
	(逆流防止性能、耐圧性能、耐寒性能、	Δ	04.12.20	浸出性能変更
	耐久性能、浸出性能)	Δ	03.04.17	メッシュ追記、鉛基準追記
	改訂番号		改訂日	改訂内容